

令和7年度学校評価報告書

令和8年（2026年）3月10日

北海道教育委員会教育長 様

北海道紋別養護学校学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

つながり、次への創造に進む学校づくり ～地域と人、場所、時間を共有する学習活動の充実～
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
全項目	【全項目平均評価点】 3. 36	【全項目平均評価点】 3. 59
学校経営	【平均評価点】 3. 29 《全項目平均未満の項目》 1 学校教育目標の具現化に向けた資質・能力を踏まえた指導 [3. 24] 2 グランドデザインは教育目標や教育方針等が分かりやすい [3. 33]	【平均評価点】 3. 54 《全項目平均未満の項目》 1 学校教育目標の具現化に向けた資質・能力を踏まえた指導 [3. 57] 2 グランドデザインは教育目標や教育方針等が分かりやすい [3. 52]
改善方策	○ 「めざす子供像」や「豊かに生活する力」を再考し共有するプロセスを通して、一人ひとりが主役となる教育環境を整えるとともに、本校と分校が密に連携・切磋琢磨することで、期待に応える質の高い教育活動を展開する。	
社会とのつながり	【平均評価点】 3. 30 《全項目平均未満の項目》 3 各学部のつながり、生活と関連付けた教育課程の計画と実施 [3. 26] 4 将来の生活に必要な力を付ける連続性のある指導、キャリア教育の推進 [3. 33] 6 主体的に取り組み、分かり高める「深い学び」を目指した授業づくり [3. 24] 7 発達を支え安心できる、人権尊重を基盤とした教育の推進 [3. 09] 9 情報活用能力の育成、学習理解を深めるICT活用の推進 [3. 17]	【平均評価点】 3. 59 《全項目平均未満の項目》 3 生活と関連付けた学習の実施 [3. 52] 6 発達を支え、安心できる、人権を尊重した教育の実施 [3. 57] 7 健康・安全に関わる教育の実施 [3. 57]
改善方策	○ 観察やアセスメントによる深い児童生徒理解、多様性を尊重した教育環境の整備、根拠を明確にした授業実践、「個別の教育支援計画」による学校・保護者・関係機関の連携強化を推進し、地域社会・将来とつながる「一貫した支援体制」を構築する。	

保護者・地域とのつながり	【平均評価点】 3. 45 《全項目平均未満の項目》 13 地域の小・中学校、高等学校等との交流及び共同学習の充実 [3. 29] 14 支援会議、体験活動、現場実習など、教育、福祉等の各機関との連携 [3. 26] 15 教育相談や助言、研修協力等、特別支援教育のセンター的機能の発揮 [3. 48]	【平均評価点】 3. 59 《全項目平均未満の項目》 12 地域の小・中学校、高等学校等との交流及び共同学習の充実 [3. 39] 13 体験活動、現場実習など、地域の関係機関と連携した教育の実施 [3. 52]
改善方策	○ 学校運営協議会の計画的な実行、教育と他分野との接続を知る視野拡大の研修等により、地域の資源の開拓と積極的な活用を推進するとともに、地域社会に開かれた信頼される学校として、交流及び共同学習や地域社会に貢献する教育活動の充実を図る。	
組織間のつながり	【平均評価点】 3. 27 《全項目平均未満の項目》 16 教務、舎務、行政の各部署の役割分担、連携・協力体制の充実 [3. 31] 17 各学部の発達段階を考慮した連続性のある教育活動 [3. 26] 18 一人で抱えずチームで対応、報告・連絡・相談に基づく確認体制 [3. 18] 20 学校、地域、関係機関の役割の明確化、校内支援体制の強化・充実 [3. 22] 21 児童生徒と向き合う時間の確保のための業務改善 [3. 18] 22 会議の目的、内容、時間の明確化、会議の精選と効率化 [3. 31]	【平均評価点】 3. 59 《全項目平均未満の項目》 14 児童生徒と向き合う時間の確保のための働き方改革 [3. 57]
改善方策	○ 会議・打合せの効率的な運用、協議の作法の可視化、煩雑な業務の集約とICT活用による生産性向上、「一人で抱えない」仕組みと心理的安全性の高い職場環境づくり等により、業務の最適化と職員の「やりがい」を創出し、教育の質の持続的向上を図る。	
安心・安全な学校	【平均評価点】 3. 46 《全項目平均未満の項目》 29 挨拶、服装、言葉づかい、服務規律の遵守等、信頼される学校づくり [3. 20]	【平均評価点】 3. 59 《全項目平均未満の項目》 16 危機管理と事故の未然防止の取組 [3. 52] 17 「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止 [3. 57] 21 挨拶、服装、言葉づかい、服務規律の遵守等、信頼される学校づくり [3. 48]
改善方策	○ ヒヤリハットの積極的集約と分析による改善の実施、健康観察の習熟、心理的安全性を高める関わりの推進、保護者や関係機関との双方向・共感的な情報共有による信頼関係の構築等により、全ての児童生徒が安心して学び生活できる環境を整える。	
公表方法	○ 学校評価結果を保護者へ配付する。 ○ 学校評価結果を学校ホームページに掲載する。	

3 添付資料

- (1) 令和7年度紋別養護学校学校評価（教職員用）
- (2) 令和7年度紋別養護学校学校評価（保護者用）